

令和元年度「大学生のための資格業ガイダンス」報告

場所：名城大学 天白キャンパス

日時：令和元年6月12日（水）12:20～15:20

会場：共通講義棟北1階学生ホール

※調査士ブースを訪れた学生・・・14名

名古屋自由業団体連絡協議会（以下、名自連）主催の「大学生のための資格業ガイダンス」が名城大学の天白キャンパスで開催されました。平成31年度当番会代表である弁護士会として最後の催しであり、始まりの挨拶で弁護士会の副会長が、有終の美を飾りたいと話されました。

そして開始の時間となりましたが、例年どおり調査士ブースを訪れる学生は、多くありませんでした。税理士会や社労士会のブースが盛況だったようです。

名城大学は当会が寄附講座を実施している学校なので、事前に寄附講座で資格業ガイダンスの告知もさせてもらえればよかったのではないかと感じました。実際、4年前に当会が当番会の際には寄附講座で資格業ガイダンスの告知をしたおかげで、かなり多くの集客があったと聞いています。

しかし、少ないとは言いながらも昨年の訪問者数よりは増加しました。それから、今年はいろいろな学部の学生の訪問がありました。いつもは法学部や経済学部等の文系の学生がほとんどですが、今年は農学部や理工学部等の理系の学生の訪問もありました。

ただ、訪問してくれた学生たちの中で「土地家屋調査士」という資格のことを知っている学生は一人もいませんでした。唯一、不動産関係の仕事につきたいという学生が、「土地家屋」という文言から不動産関係の仕事に役立つ資格ではないか？と推察し、訪問してくれました。

調査士ブースを訪問してくれた学生たちへは、仕事の説明、資格取得の方法、収入のこと、仕事上の大変な事例等の話をしました。特に資格取得の試験内容や合格率の話、資格取得後の収入の話などは皆、興味をもって聞いていました。

説明の際、新しいパンフレットが有用でした。今回は、4種類用意しましたが、自分が説明する時は「新パンフレット（詳細版）」のみ使用しました。仕事の内容と資格取得のことが記載してあるので、資格業ガイダンスにはこのパンフレットが有用であったと感じました。

パンフレット作成時の目的である、説明する相手方、状況に応じてパンフレットを使い分けるということが実践できたと感じています。

最後に、名自連の多くの業界が調査士会と同じように、受験者数の減少問題に悩まされているようです。この資格業ガイダンスも、即効的な効果はないかもしれませんが、受験者数増加に繋がる運動の一つとして今後も積極的に取り組んでいってほしいと感じました。

（広報委員 山内良仁）